

センシング先端技術動向調査報告会 ー平成21年度「センシング技術専門委員会」 活動成果報告ー

- 主 催：センシング技術専門委員会
- 担当部署：知的基盤部（技術戦略G）
- 参加者数：41名

概 要

当協会、技術戦略委員会（委員長：須藤亮／（株）東芝）の下部組織であるセンシング技術専門委員会（委員長：安藤繁／東京大学）では、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要なセンシング技術の先端技術分野について各種調査を実施しております。平成21年度の各調査で得られた成果を広く公表するため、先端技術調査報告会を実施致しました。

今回の報告会では各分科会委員長より、MEMS／NEMS技術、次世代センシング技術、センサ生産実績に関する動向と統計についての成果報告が行われました。また、招待講演として慶應義塾大学の浜中裕徳氏をお招きし、「効果的な温室効果ガス排出量管理のための排出量計測・表示・制御システムの開発・普及」と題してご講演頂き、盛況の内に終了致しました。

プログラム

○開会の挨拶

センシング技術専門委員会 委員長 安藤 繁 氏（東京大学）

○「MEMS/NEMSセンシングデバイス技術」

MEMS/NEMSセンシングデバイス技術分科会 委員長 石田 誠 氏（豊橋技術科学大学）

○「次世代センシングシステム技術」

次世代センシングシステム技術分科会 委員長 本多 敏 氏（慶應義塾大学）

○「センサ生産実績に関する統計とセンシングロードマップに向けた調査 ー感性センシングの動向調査ー」

センサ動向・統計分科会 委員長 中本高道 氏（東京工業大学）

○「効果的な温室効果ガス排出量管理のための排出量計測・表示・制御システムの開発・普及」

（財）地球環境戦略研究機関理事長 浜中裕徳 氏（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授）



安藤委員長（東京大学）ご挨拶



会場の様子